

2019年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月12日

上場会社名 株式会社アイ・ピー・エス 上場取引所 東
 コード番号 4335 URL http://www.ips.ne.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 寛
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 生田 裕彦 TEL 06-6292-6236
 四半期報告書提出予定日 2019年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第2四半期の連結業績（2018年7月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第2四半期	1,127	—	6	—	5	—	3	—
2018年6月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2019年6月期第2四半期 3百万円 (ー%) 2018年6月期第2四半期 ー百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第2四半期	1.47	1.46
2018年6月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、2018年6月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年6月期第2四半期の対前年同四半期増減率並びに2018年6月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第2四半期	1,278	839	64.2
2018年6月期	1,440	848	57.6

(参考) 自己資本 2019年6月期第2四半期 821百万円 2018年6月期 829百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2019年6月期	—	0.00	—	—	—
2019年6月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年6月期の連結業績予想（2018年7月1日～2019年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	△2.3	140	98.7	140	96.9	95	105.8	39.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年6月期2Q	2,466,000株	2018年6月期	2,466,000株
② 期末自己株式数	2019年6月期2Q	77,000株	2018年6月期	77,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年6月期2Q	2,389,000株	2018年6月期2Q	2,389,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における連結経営成績は以下のとおりであります。なお、前第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同期比については記載しておりません。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善し、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、保護主義の台頭による世界的な通商問題や中国経済の減速懸念など、先行きは不透明な状況となっております。

当社グループを取り巻く環境においては、企業の情報システム投資に対する慎重姿勢は継続しているものの、戦略投資としてのIT投資案件が増加しており、AIやIoT技術を利用した新しいビジネスの進展が期待されます。

かかる状況の下、当社グループは中堅・中小企業向けの国際標準業務システムを、SAP S/4HANA Cloudをパブリック・クラウドにて導入するサービス提供を行っております。当社グループはこのパブリック・クラウド版の提供を通じて、さまざまな業種と業務におけるグローバルなデジタルビジネスに向けたエンタープライズ対応機能を提供して参りました。また、顧客ニーズに適応した業務改善提案を実施するとともに、SAP ERP導入後の活用に向けたソリューションの提供を通じて、積極的なコンサルティング活動を推進してきました。また、従来より実施しているテレマーケティングやセミナーを充実させ、より積極的な営業提案を行ってきました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高11億27百万円となりました。利益におきましては、前期に引き続き外注費やソフトウェア償却費等により売上原価が増加し、また、オフィスの増床を実施したことに伴い販売管理費が増加しました。以上の要因により、営業利益6百万円、経常利益5百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益3百万円となりました。

なお、当社グループはERP導入関連事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における当社グループの財政状態は、前連結会計年度末と比較して、資産合計が1億61百万円減少して12億78百万円となり、負債合計が1億53百万円減少して4億38百万円となり、純資産合計が8百万円減少して8億39百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億77百万円減少し、4億48百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは91百万円の支出となりました。これは売上債権の減少による収入36百万円、前払費用の減少による収入77百万円、たな卸資産の増加による支出63百万円、前受金の減少による支出93百万円、仕入債務の減少による支出46百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは72百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出34百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは12百万円の支出となりました。これは主に、配当金の支払による支出11百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年6月期の通期連結業績予想につきましては、2018年8月10日に公表しました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	625,334	448,135
売掛金	343,994	307,641
仕掛品	112,452	175,682
前払費用	106,922	29,778
その他	14,047	19,603
流動資産合計	1,202,750	980,841
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	17,920	43,838
工具、器具及び備品(純額)	10,015	14,946
土地	19,003	19,003
リース資産(純額)	2,708	2,302
有形固定資産合計	49,648	80,090
無形固定資産		
ソフトウェア	56,924	47,030
その他	3,249	2,914
無形固定資産合計	60,174	49,945
投資その他の資産		
繰延税金資産	45,209	45,252
差入保証金	63,899	94,279
その他	18,408	27,806
投資その他の資産合計	127,517	167,338
固定資産合計	237,340	297,374
資産合計	1,440,091	1,278,216
負債の部		
流動負債		
買掛金	154,526	107,778
未払金	91,956	99,691
未払費用	2,011	2,214
未払法人税等	28,457	6,485
賞与引当金	9,441	8,969
前受金	141,290	48,204
その他	32,604	18,125
流動負債合計	460,288	291,468
固定負債		
退職給付に係る負債	129,407	146,949
その他	1,935	—
固定負債合計	131,343	146,949
負債合計	591,631	438,417

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	255,250	255,250
資本剰余金	94,202	94,202
利益剰余金	502,493	494,070
自己株式	△22,223	△22,223
株主資本合計	829,721	821,298
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	97	△140
その他の包括利益累計額合計	97	△140
新株予約権	18,640	18,640
純資産合計	848,459	839,798
負債純資産合計	1,440,091	1,278,216

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)
売上高	1,127,219
売上原価	891,799
売上総利益	235,419
販売費及び一般管理費	※ 229,337
営業利益	6,082
営業外収益	
受取利息	16
その他	247
営業外収益合計	264
営業外費用	
支払利息	39
為替差損	17
コミットメントフィー	449
営業外費用合計	506
経常利益	5,840
特別損失	
固定資産除却損	178
特別損失合計	178
税金等調整前四半期純利益	5,662
法人税等	2,139
四半期純利益	3,522
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,522

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	3,522
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△238
その他の包括利益合計	△238
四半期包括利益	3,283
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	3,283
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	5,662
減価償却費	22,253
前払費用の増減額 (△は増加)	77,144
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	17,542
受取利息	△16
支払利息	39
売上債権の増減額 (△は増加)	36,353
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△63,230
仕入債務の増減額 (△は減少)	△46,747
前受金の増減額 (△は減少)	△93,086
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△11,446
その他の資産の増減額 (△は増加)	△7,112
その他の負債の増減額 (△は減少)	△8,540
その他	1,220
小計	△69,965
利息の受取額	16
利息の支払額	△39
法人税等の支払額	△22,769
法人税等の還付額	963
営業活動によるキャッシュ・フロー	△91,794
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△34,773
無形固定資産の取得による支出	△7,872
貸付金の回収による収入	500
差入保証金の差入による支出	△30,380
その他	△136
投資活動によるキャッシュ・フロー	△72,661
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△11,845
リース債務の返済による支出	△447
その他	△449
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,742
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△177,199
現金及び現金同等物の期首残高	625,334
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 448,135

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)

当社グループは、ERP導入関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。